

国際化推進事業

1 国際交流専門員による国際交流事業の実施

広島市では、総務省、外務省、文部科学省の3省合同による「語学指導等を行う外国青年招致事業」により国際交流員2人を任用しており、令和3年度は7月末まで、本財団の国際交流・協力課に1人（平成31年度から継続）が配置されました。また、8月以降は、同事業を行うため国際交流専門員を1人配置しました。

(1) 国際交流員及び国際交流専門員の紹介

委嘱期間	国際交流員名	出身国・地域
平成30年8月8日 ～令和3年7月31日	マーク・マクフィリップス	英国 グレーター・マンチェスター州
令和3年8月1日 ～令和4年9月30日	メーガン・ライオンズ	アメリカ テキサス州出身

(2) 国際交流専門員の派遣

地域レベルでの国際交流及び国際理解の推進を図るため、国際交流専門員を学校や市の関係機関が実施する国際理解・交流事業に派遣しています。

令和3年度国際交流員派遣事業実績

派遣先	件数	内訳
保育園	0	
小学校	6	国際交流活動 ほか
中学校	0	
その他	7	国際理解と交流 ほか
計	13	

(3) 国際交流専門員の相談日の実施

国際交流専門員が市民と自由なトピックで対話する「Have a Chat!」を対面及びオンラインで開催しました。

実施状況

区分	会場	開催日	人数
対面	国際会議場研修室	原則 毎月第4水曜日	計24人
オンライン	—	原則 毎月第3水曜日	計13人

2 情報紙の発行

広島市在住外国人の生活に役立てるため、広島市の広報紙「ひろしま市民と市政」の記事や生活情報を掲載した広島市多言語ニューズレター「Hiroshima NOW」を毎月1回発行しました。合わせて、「Hiroshima NOW」の情報をインターネットでも提供しました。

- ・ Hiroshima NOW（A3判、やさしい日本語、英語、スペイン語、中国語、ベトナム語、ポルトガル語） 月1回発行
- ・ 配布場所：広島国際会議場3階国際市民交流課、広島市内各区役所、関係機関、市内の日本語教室など
- ・ 「Hiroshima NOW」やさしい日本語版
URL: https://h-ircd.jp/hiroshima_now



3 国際交流・協力団体との連携

国際交流・協力事業の連携・調整を図るため、中国・四国地区地域国際化協会の連絡協議会に職員1名が参加したほか、二国間団体の運営に関して委員等として参加し、助言を行うとともに、全国市町村国際文化研修所の研修会等に職員2名が参加しました。

(1) 中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会

開催日 令和4年10月26日（水）～27日（木）

場所 徳島県国際交流協会（徳島市）

内容 研修会「責任ある外国字人労働者受け入れのための外国人支援について」等

(2) 研修会

ア 災害時における外国人への支援セミナー

開催日 令和4年9月26日（月）～28日（水）

開催場所 全国市町村国際文化研究所（滋賀県大津市）

開催内容 地震や水害等の災害、新型コロナウイルス等の感染症発生時における外国人市民を取り巻く状況を踏まえ、支援のための仕組みづくりなどについて理解を深める。

イ 災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修・訓練

開催日 令和4年10月13日（木）

開催場所 東京体育館（東京都渋谷区）

開催内容 近年多発している災害に対し、外国人支援に向けた取り組みを行うに当たり、他機関との連携や広域支援が有用であることから、関係者間で情報共有やネットワーク構築を行う。

(3) 二国間団体

広島インドネシア協会、広島オーストラリア協会、広島カナダ協会、広島県日韓親善協会、

広島シンガポール協会、広島日英協会、広島日仏協会、広島日米協会、広島日伯協会、広島ベトナム協会

4 通訳ボランティアの研修・派遣事業

外国人市民の増加に伴い、区役所、学校等での相談等で、母国語による通訳ボランティアを派遣する必要性が高まっています。

このため、通訳ボランティアを対象にした研修会を開催するとともに、通訳ボランティアの交通費の一部を本財団が負担して派遣し、外国人市民の支援を行っています。

(1) 通訳ボランティア研修会

開催回数 2回
 形式 対面
 対象 通訳ボランティア登録者
 参加人数 延べ29人
 内容等

開催日	テーマ	講師等	参加人数
(第1回) 2月11日(土) 13:30~16:30	多文化社会のコミュニティ通訳~双方向のコミュニケーションのためのことば~	特定非営利活動法人 多言語センター FACIL 理事長 吉富志津代氏	15人
(第2回) 2月26日(日) 14:00~16:30	語学研修(英語)	通訳者養成機関講師	14人
計			29人

(2) 通訳ボランティアの派遣

派遣先	件数	依頼者	言語
保育園	2	中国語 2件 2人	個人懇談会、入園説明会ほか
小学校	13	英語 4件 4人 中国語 9件 9人	入学説明会、個人懇談会ほか
中学校	1	中国語 1件 1人	個人懇談会
広島市	16	英語 10件 17人 中国語 6件 6人	平和記念式典、育児相談ほか
計	24	24件 25人 (一部重複あり)	

(3) 登録状況

登録人数 計 79 人

令和 5 年 3 月 31 日現在

英語	中国語	スペイン語	ロシア語	フランス語	韓国・朝鮮語	タイ語	その他の言語※
49	9	4	4	3	2	2	6
62.0%	11.4%	5.1%	5.1%	3.8%	2.5%	2.5%	7.6%
計 79 人（重複登録あり）							

※ドイツ語 2 人、ベトナム語 1 人、ネパール語 1 人、ポルトガル語 1 人、クメール語 1 人、イタリア語 1 人

5 外国人市民の総合相談窓口事業

日本語で円滑にコミュニケーションすることができない市民のために、多言語で対応できる相談窓口を開設し、対面や電話での生活支援相談、生活関連情報の翻訳・提供、行政機関等への同行、電話による通訳などを行っています。

令和 3 年度からは、広島広域都市圏連携事業として、相談の対象を安芸郡 4 町（府中町、海田町、熊野町、坂町）に拡大し、「広島市・安芸郡外国人相談窓口」として 4 町と共同運営しています。令和 4 年度は、フィリピン語の相談日を週 1 回（金曜日）に加え、月 2 回（木曜日）を追加し、実施しました。さらに、本市へ転入してきたウクライナからの避難者に対し、転入に伴う各種行政手続支援や生活相談等を受ける際、ロシア語の通訳者を手配・派遣しました。

また、ウェブサイトを活用して 8 言語で生活関連情報の発信を行うとともに、総合相談窓口において広島出入国在留管理局職員による在留資格等に関する専門相談を月 1 回（第 2 金曜日）実施しました。

(1) 開設場所及び日時

- 広島国際会議場 3 階 国際市民交流課内
月曜日から金曜日の午前 9 時から午後 4 時まで
※ 祝日、年末年始、8 月 6 日及び広島国際会議場の管理運営の都合により臨時に相談窓口を閉室する場合は除きます。
※ 広島出入国在留管理局での出張相談は、第 2 金曜日の午後 1 時 30 分から午後 4 時まで行っています。
- 安芸区役所（区政調整課）
第 2 水曜日（ポルトガル語）及び第 3 木曜日（スペイン語）の午前 10 時 15 分から午後 4 時まで
- 基町管理事務所
第 2 火曜日（中国語）の午前 10 時 15 分から午後 4 時まで

(2) 対応状況

開所日数	延べ 対応件数	内 容
244 日	1,301 件	教育.....22% 福祉サービス.....15% 入国・在留..... 9% 社会保険・年金.....7% 住宅.....6% ほか

- 安芸区役所（区政調整課）
ポルトガル語 開所日数 12 日／相談件数 9 件
スペイン語 開所日数 12 日／相談件数 1 件
- 基町管理事務所
中国語 開所日数 12 日／相談件数 28 件

6 外国人市民の日本語能力向上支援事業

外国人市民の増加や定住化が進む中、外国人市民が生活に必要な日本語能力を身に付けられるよう、日本語教育施策の重要性が高まっています。

令和元年度、広島市は実情に即した日本語教育施策の推進とその体制づくりのため、実態や課題を調査し、推進計画を策定しました。これに基づき、広島平和文化センターでは令和 2 年度から、日本語教室開催等の具体的な施策を実施しています。

(1) 日本語教育コーディネーターの配置

令和 2 年 8 月から「日本語教育コーディネーター」の橋本優香^{はしもとゆうか}氏を国際市民交流課に配置しています。橋本氏は、日本語教育学専攻修士課程を修了後、日本語教師として海外で教壇に立ち、帰国後は(公財)ひろしま国際センター専任講師、中国帰国者支援・交流センター教務主任等を務めた経験を有します。

日本語教育に関する専門知識及び指導経験を生かして、広島平和文化センターが主催する日本語教育関連の講座への助言、地域日本語教室への助言・支援、日本語教育に関わる大学や専門学校等との連携・協力を行っています。

(2) 入門レベルの日本語講座の開催

外国人市民を対象に、ひらがな・カタカナ、挨拶や基礎的な会話などを習得する「入門レベル日本語教室」を春と秋の 2 期実施しました。

学習内容を定着させるとともに、広島について日本人市民と共通の話題を持つ事を目的として、2 回



入門レベル日本語教室

のアクティビティ（書道体験、茶道体験）も取り入れました。

開催回数 春期・秋期それぞれ 20 回コース（6 月～8 月）

会 場 広島国際会議場 3 階研修室、オンライン

受講者数 春期 15 名、秋期 16 名（延べ 463 人）

（3）日本の習慣や生活などを理解するための各種講座の開催

① みんなで話そう「やさしい日本語」連続講座

難解な言葉を簡単な言葉に言い換えて話す、一文の情報量を少なくする等を意識した「やさしい日本語」を使って、外国人市民とコミュニケーションを取るための講座を 2 回開催しました。令和 4 年度から、「やさしい日本語」の概要や用法を知るだけでなく、実際に外国人と「やさしい日本語」を使ってコミュニケーションを取りながら地域の課題や防災について学ぶよう、内容を拡充しました。

日 時 第 1 回：令和 4 年 6 月 24 日（金）、7 月 1 日（金）、7 月 8 日（金）

第 2 回：令和 5 年 2 月 12 日（日）、19 日（日）、26 日（日）

講 師 (公財)国際センター いぬかいやすひろ 犬飼康弘氏、広島市環境局職員、広島大学大学院 こぐち ゆきこ 小口悠紀子准教授

場 所 第 1 回：なかの中野公民館、日本ウェルネススポーツ専門学校

第 2 回：こうよう高陽公民館

受講人数 第 1 回：日本人等 延べ 25 人、外国人市民等 延べ 38 人

第 2 回：日本人等 延べ 21 人、外国人市民等 延べ 11 人

② 外国人市民のための安全教室

日本の習慣やルールを知らないことが原因で事故やトラブルに巻き込まれないよう、外国人市民に生活ルールや交通ルールを学習する機会を提供しました。110 番通信指令室の見学や、パトカーや白バイとの記念撮影等も盛り込みました。

日 時 7 月 6 日（水）15:15～17:00

講 師 広島県警察本部の警察官

場 所 広島県警察本部

受講人数 15 人

③ 日本文化体験講座

日本人市民との交流や日本語学習のきっかけづくりを目的として、友禅染で雑貨を作る日本文化を紹介するイベントを開催しました。

日 時 8 月 28 日（日）13:30～15:30

講 師 やまうちけいこ 山内恵子氏

場 所 うじな 宇品公民館

受講人数 27 人



友禅染体験

④ 日本語で伝える 外国人による多文化共生講座講師登録・紹介

公民館等で開催される「国際理解講座」の講師として活動できるよう、外国人市民を対象に日本語によるプレゼンテーション能力向上のための研修会を実施しました。

時 期 令和5年1月21日(土)、2月4日(土)、2月18日(土)

講 師 ひろしまグローバルプラットフォーム「ソトカラ」 代表 ^{はまなが まき}濱長真紀氏

場 所 ^{うした}牛田公民館、広島国際会議場

受講人数 外国人市民8人

(4) 日本語ボランティア養成事業(Ⅰ～Ⅲ)の開催

より受講者のニーズに合った講座を提供するため、令和3年度より3コースに分けて実施しました。

「Ⅰ」は日本語ボランティアの経験がない人が対象で、より幅広い層の市民に日本語ボランティアに関心を持ってもらい、ボランティアのすそ野を広げることを目指しました。

「Ⅱ」及び「Ⅲ」は、従来通り日本語ボランティア活動に必要な文法学習に特化し、Ⅱはボランティアを始めて2～3年のボランティア向け、Ⅲは10年程度のボランティア向けに、外国人市民に日本語を教える際に必要となる日本語の文法等を研修しました。

また、講座受講後に地域で日本語ボランティア活動を行う際、心理的ハードルを下げて活動が活性化するように、これら3クラスの受講者が「入門レベル日本語教室」にサポーターとして参加しました。

① 日本語ボランティア養成講座Ⅰ

開催回数 6月(5回)

場 所 広島国際会議場3階 研修室

講 師 広島YMCA専門学校 言語コミュニケーション科専任講師 ^{ふくなが なおこ}福永尚子氏

受講人数 延べ148人

② 日本語ボランティア養成講座Ⅱ

開催回数 10月～12月(7回)

場 所 広島国際会議場3階 研修室

講 師 広島YMCA専門学校 言語コミュ
ニケーション科専任講師 ^{いしかわ ゆうすけ}石川裕大
^{すえだ ともこ}氏、末田朝子氏

受講人数 延べ145人



日本語ボランティア養成講座

③ 日本語ボランティア養成講座Ⅲ

開催回数 5月～6月(7回)

場 所 広島国際会議場3階 研修室

講 師 広島YMCA専門学校 言語コミュニケーション科専任講師 石川裕大氏、

末田朝子氏

受講人数 100人

(5) 企業等の従業員のための日本語教室（モニター）

① 1社目

開催回数 8月～10月（10回）

場 所 株式会社シティプラスチック 実習生社員寮

講 師 広島 YMCA 言語コミュニケーション科専任講師 福永尚子氏、非常勤講師 古谷珠美氏

受講人数 延べ94人

② 2社目

開催回数 2月～3月（8回）

場 所 紀陽コーテック株式会社 会議室

講 師 日本語教師 胡子^{えびすかずこ}和子氏、広島 YMCA 言語コミュニケーション科 非常勤講師 杉本^{すぎもとれいじ}麗次氏

受講人数 延べ54人

(6) ウクライナ避難民に対する少人数日本語指導【新規】

本市に転入したウクライナ避難民に対し、生活支援の一環として、集団の日本語教室に加え、日本語の個別指導を実施しました。

受講人数 8人（5世帯）実施時間数 計196時間（5月～）

実施場所 広島国際会議場、留学生会館、緑井駅前サロン、佐伯区スポーツセンター

講 師 日本語教師 久保田^{くぼた}みゆき氏、橋村^{はしむら}ますみ氏、菅川^{すがかわ}裕希氏、藤田^{ふじたまこと}誠氏

7 外国人市民のための生活ガイドブックの作成【新規】

「外国人にも暮らしやすいまちづくり」を推進するため、外国人市民向けに日常生活に必要な行政サービスや生活関連情報をまとめた「外国人市民のための生活ガイドブック」を8言語（日本語、英語、中国語、ハングル、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、ベトナム語）で作成しました。広島市のホームページで電子データを閲覧及びダウンロードすることができます。

また、QRコードをスマートフォン等で読み取ることで、日常生活に必要な行政サービスや生活関連情報を8言語（やさしい日本語、英語、中国語、ハングル、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、ベトナム語）で閲覧することが可能です。



ナム語)で閲覧することができるリーフレット版「外国人市民のための生活ガイドブック」を作成しました。同リーフレットは、広島市関係機関や広島国際会議場3階国際市民交流課でも配布しています。

8 災害通訳ボランティア研修等の実施【新規】

(1) 外国人市民のための防災研修

外国人市民を対象に、日本の災害とはどのようなものか認識してもらい、適切な避難行動につなげてもらうよう防災意識の向上を図るための研修を2回実施しました。

① 第1回

日 時 令和4年9月4日(日) 13:00~16:30
会 場 広島市留学生会館 2階ホール
講 師 矢田町内会自主防災 会長 防災士 木村隆明氏
矢田町内会 会長 防災士 松本昌之氏
広島県防災ドローン研究会 防災士 伊達富美氏
参加人数 外国人市民10人、災害通訳ボランティア登録者(通訳補助)5人
協 力 温品公民館

② 第2回

日 時 令和4年9月14日(水) 9:45~11:30
会 場 佐東公民館
講 師 一般社団法人梅林学区復興まちづくり協議会代表理事 防災士 松井憲氏
参加人数 外国人市民9人、佐東にほんご教室ボランティア8人
協 力 佐東公民館

(2) 災害通訳ボランティア研修

広島市の災害通訳等ボランティア等を対象に、災害時における対応を身に付け、通訳・翻訳のスキル向上を図るための研修を実施しました。

日 時 令和5年2月12日(日) 14:00~16:30
会 場 広島国際会議場 地下1階 会議運営事務室
講 師 (特非)多言語センターFACIL 理事長 武庫川女子大学文学部教授 吉富志津代氏
参加人数 13人